

グループわ 本部

理事長 大槻 隆文(食20期) 会員 1452名

わ本部 743-8101 group_wa@wa-net.jp

基本方針:会員の皆様のボランティア活動が健康で楽しく、より潤沢に出来るよう一元化された組織基盤の構築を推進いたします。そのため、カレッジの建学精神「再び学んで他のために」の実践を目的に、会員の持つ豊かな経験・知識の活用。本部・区会・部会のコミュニケーション強化。会員高齢化に伴って、活動が支障をきたさないようKSC現役生との連帯強化等を図ります。本部の主な事業はこのページに掲げる項目のほかグループわ本部イベント(年間40回)として関係団体と緊密な連携を図り豊かなイベントを心がけています。活動内容はこども・高齢者と三世代を通じて、3つのコンセプト「日本伝承文化」「健康増進」「環境保全」を基軸にしています。みんなで楽しくやりましょう。

こどもの電話相談

担当理事:南 謙二(健22期)

水の科学博物館

担当理事:増井 良夫(生21期)

概要:神戸市の水道事業を紹介する、水をテーマにした博物館です。建物はドイツルネッサンス風の重厚かつ優美な外観で、日本の建築史上価値ある建物です。

平成28年4月から業務を開始しました。令和2年度からは、有償ボランティア活動として毎日2名のスタッフを派遣し、通門所の警備業務を担当します。

神戸市立小学校4年生の社会環境授業の一環として、70%以上の小学校から見学に来られます。

須磨一ノ谷プラザ

①阪田國彦(健18期)②H19 ③スタッフ29名 ④有

⑤月曜休館 ⑦須磨区一ノ谷町5-2-1

⑧須磨一ノ谷プラザ:731-8353(F)

⑨業務内容:貸室管理運営 会議室4、和室3、ホール1、合計8室。●JR・山陽須磨駅から西へ800m、山陽須磨浦公園駅から東へ700m、市バス71・72・75・81系統の「須磨一の谷」終点。●須磨浦公園の東端に位置し、正面に紀伊半島・淡路島を望む風光明媚な臨海部にあり、源平ゆかりの謡曲や俳諧のフィールドとして親しまれているエリアである。●楽器演奏・謡曲・舞踊・民謡などの文化的利用のほか、会議・マージャンなどの利用も多い。

フレイルサポーターとして フレイルチェック会開催支援

①北条佳代子(国20期)②H30 ③60名

④有(神戸市主催のフレイルサポーターの養成講習 要受講)

⑤随時 ⑥無 ⑦しあわせの村他(チェック会の開催要請地域)

⑧北条佳代子:070-2310-0634 k.hojo@kfy.biglobe.ne.jp

⑨フレイルとは、「虚弱」を意味します。フレイルは早期に適切な介入をすれば、機能回復することから、フレイル状態にある高齢者が自分の状況に気づくことができるような取り組みが必要です。神戸市は65歳以上の市民を対象にフレイルチェック会を行っています。サポーター自身も地域の健康づくりの担い手として活躍する場でもあり、活動を通して社会参加することで、自らの健康寿命を伸ばすことにもつながっています。

⑩年間1~2ヶ月毎にチェック会の開催を支援しています。

子どもたちの学習支援活動

①学習支援委員長:岡本 紘一(生18期)②H17 ③55名

④募集有(子供好き・資格不問)⑤随時⑥無

⑦市立小学校・特別支援学校

⑧問合せ先:わ本部 743-8101 wa_info@wa-net.jp

⑨小学校を舞台にし学習支援活動“の円滑運営とその推進にKSCと連携して取組んでいる。

毎年新年度に神戸市教育委員会の協力を得て、KSCと連名で、市内全小学校(特別支援学校を含む)へ、教科(算数・英語など)の指導補助・特別支援(障害児童への支援)・出前授業(戦争体験談・昔あそび・昔のくらし)などの学習支援や、学校行事の受付、登下校の見守りなどの学校支援の内容を案内している。

支援要請のあった小学校に支援要請内容に対応出来る登録会員を派遣し担当教諭のアシスタントとして、将来ある子供たちの健全育成をサポートしている。

また「学習支援者の集い」を開催し、市教育委員会や学校現場から外部講師を招いたり、学習支援者の体験談の報告会を行い、支援対応力アップのため研修を行っている。

パソコン教室

担当理事:南 謙二(健22期)

問合せ先:わ本部 743-8101 wa_support@wa-net.jp

活動場所:長田区ふたば学舎(旧神戸市立地域人材センター)

活動内容:講師陣は、神戸市シルバーカレッジOBの有志。パソコンは持参していただいても良く、教室備付(Win-7 or Win 10)を使うこともできます。マンツーマンの個人指導で、初心者でも安心です。

“花実の森”プロジェクト

①菅田忠志(生11期)②H22 ③25名 ④有

⑤月2回 ⑥1000円/年 ⑦カレッジ里山

⑧菅田忠志:792-5811 tds-kanda@hi-net.zaq.ne.jp

⑨兵庫県里山ふれあい森づくり事業の助成を受けて、平成22年度からカレッジ北側の里山を“花実の森”と名付けて整備・再生活動を行っている。今後この活動はさらに広げ、小学校3年生の「自然環境体験学習」や「親子自然塾」の場として、カレッジ及びしあわせの村とも連帯してプログラムを企画し、子供達の魅力ある野外教室となるよう活動を進めていく。

⑩定例活動以外に親子カブトムシ生育観察会や、自然環境体験学習を実施。

プログラミング支援

①向井庸裕(国22期)②設立:R01 ③5名 ④有(募集中)

⑤定例会(月1~2回)⑥無 ⑦不定

⑧向井庸裕(mukai@bbcont.jp)

⑨小学生向けに「プログラム体験講座」を実施しています。

2019年4月から7月まで月2回勉強会を行い8月に6回、11月に1回体験講座を実施しました。

これから「放課後児童クラブ(学童保育)」の活動メニューに「プログラム体験講座」を含めて、活動場所と実施回数を広げる計画です。

そのため「プログラム体験講座」の講師を養成します。月1~2回の勉強会を開催します。

対象言語はScratchです。講師に興味のある方は連絡してください。